

# 南種子町議会 みなみたね 議合だより

第3回定例会

第179号

発行 令和4年11月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 広坂 喜一郎

■編集：議会広報編集委員会

■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



第11回 種子島屋久島議会議員大会

第11回種子島屋久島議会議員大会が4年ぶりに  
本町で開催されました。

撮影場所

南種子町福祉センター

(令和4年10月4日)

撮影

池亀

浩志 (企画課職員)

## 主な内容

令和4年第3回定例会が9月8日～16日まで開催されました。

- 一般質問(5名)……………2P～6P
- 論点(第3回定例会 議案及び補正予算審議から)…7P
- 委員長報告(所管事務調査)総務文教委員会…8P
- 委員長報告(所管事務調査)産業厚生委員会…9P
- 決算審査特別委員会設置及び決算審査付託
- 一部事務組合議会議員選挙・ホームページ閲覧
- 編集後記……………10P

一般質問



大崎 照男 議員

# 若者定住について

**大崎** 町長の選挙公約で、雇用創出による若者定住化で活力ある町づくりとありました。これまでと、今後の方針を。

**町長** 令和3年度の本町における定住者数は18世帯の50人。うち家族留学は9世帯の29人。若者の定住化促進のためには、住宅環境整備、町内に安定的な就業の場所、魅力ある労働環境、就業に関する情報がいつでも入手できるような環境が、大変重要。有機農業関連誘致、ホテル誘致など、若者の定住につながっていくと思います。魅力ある商業地域、生活基盤を選定していく上、働く場と消費生活の場両面において、買い物しやすい環境づくりも必要。

## 婚活について

**大崎** これまでの婚活星コンは、男性が町民で、女性が町外でした。今後の星コンイベントは、男性、女性、町民、島民同士では。

**町長** 婚活の目的は、離島での暮らしに関心のある女性を対象に出会いの場の創出をし、婚活のサポートを行い、移

住定住人口減少対策へつなげることを目的に実施。参加範囲は、男性のみ町内に限定、女性には制限をしていない。町民同士の交流も可能。

## まち、ひと、しごと創生事業について

**大崎** 南種子町におけるこれまでの創生事業交付金施策3年間の実績と今後の取り組みは。

**町長** 令和2年度から第2期総合戦略の各種施策に取り組んでいるところ。交付金を活用するためには総合戦略の計画を策定した上で、事業ごとの地域再生計画を策定し、国の認定を受ける必要があります。交付するためには非常にハードルが高い状況です。総合戦略における施策について、ほかの補助事業を活用することで、ふるさと納税の財源を充当するなど対応し、いろんな施策を進めております。

## 高齢者支援について

**大崎** 高齢者へのこれまでの支援事業に加えて、今後の町単独の支援事業は考えられないか。

**町長** 高齢者への、町として単独補助支援については考えていない。

## 自衛隊施設誘致について

**大崎** 住宅は主に西之表市と中種子町。南種子町の施設は、車庫、車両整備工場、ヘリポート。南種子に住む隊員は10人程度、このような小規模施設で南種子町の活性化、経済効果がなされるのか。

**町長** 本町は島内で1番厳しい状況です。

## 生活保護支援査定について

**大崎** 生活保護支援は必要です。国の基準があります。が、厚生労働省集計結果で5万件近くの不正受給者がいるとのこと。本町での保護支援査定がなされているのか。

**町長** 生活保護法に基づき、査定をしている。

## 葦永おかざき十文字信号機設置要望について

**大崎** 葦永おかざき十文字に信号機設置を要望します。

**町長** ロケット輸送の関係などいろんな条件があり、住民からの要望書が届いていない。町としては、葦永地区公民館等を通じ、住民の意見を聞くことが重要。

## 葦永東馬渡川改修工事について

**大崎** 東馬渡川沿い道路斜面崩壊、崩落が年を増すことに酷くなり改修工事を。

**町長** 補助事業採択基準に該当しないことや町単独事業として事業費確保の面で厳しい状況。

**建設課長** 総合流域防災事業で、採択基準が事業費の総額総事業費が4億円以上、24億円以内の準用河川に係る河川改修等で、当該河川工事によつて氾濫被害が防止される区域内に60センチ以上の農地、50戸以上の家屋、5センチ以上の宅地、過去3年間に氾濫被害が3回以上発生した区域などの基準が示されている。



塩釜 俊朗 議員

## 町政の続投について

**塩釜** 小園町長が就任してから3年と5ヶ月になろうとしている。選挙中に発表したマニフェストを緊急性、そして必要性等に配慮しながら、諸政策を実行していくというものであります。

又未来会議という組織をつくり、その意見等を行政に反映していくとのことでしたが、今までの政策の成果についてお伺いしたい。

**町長** 就任8か月後には新型コロナウイルスということで、大変な状況が始まりコロナの対策はしながら町民の皆さん、そして職員の皆さんと一緒に、しっかりとしたまちづくりを進めなければならぬと新たな挑戦が始まったと思う。

町の未来会議も設置した。職員の採用試験については、町長として面接に一切関わりを持つことを断つことにし、面接官は県本土の方から来ていただき、進めている。

又コロナの支援対策及び原油価格、物価高騰支援対策として国からの交付金をいただき第1弾から第11弾まで取り組んできております。

官民2カ所のサテライトオフィスを整備し、町外からも

活用していただいております。国の緑の食料システム戦略、国がこの方針を出し町は有機農業を軸としたオーガニックなまちづくりとして取り組んでいます。

宇宙芸術祭は1市2町で取り組んでおりましたが、一昨年解散し、新生種子島宇宙芸術祭を町単独で立ち上げスタートしました。子供さん方も住民の皆さんも巻き込んだ再スタートとなります。

人口減少対策、一番の課題だと思ふ。宇宙留学、家族留学、実を結びつつありますが住宅が不足しています。この住宅政策には、民間の力を貸して頂き、造ってもらいそして運営していただく、このような政策をやりたいと思ふ。

今後「町民総力で」を合言葉に、しっかりと頑張りたいというふうに思っています。

**塩釜** 町民のための仕事を断つ、これは当然のことだと思っている。この成果については、町民一人一人が評価し判断をしていくことだと、このように思っております。本町も来年4月頃町長、町議会選挙が執行されます。小園町長は次期選挙に立候補する決意があるか伺う。

**町長** 1期目の取り組み等について答弁をさせていただいた。現在も引き続き町民の皆様の負託に応えられるよう努力をしている最中でございます。現在取り組んでいる、また取り組もうとしている事業など次の4年の任期でしっかりとやり遂げられるように、令和5年統一地方選、町長選挙へ2期目に向けて立候補すべく決意を新たにしているところです。

### 町民大運動会の今後について

**塩釜** 町民大運動会コロナ過により令和2年、3年中止、特に今年度もコロナ禍でもあり地区公民館の同意が得られなかったため、中止になったとの防災無線での報告であります。全国的に野外でのスポーツは、コロナ対策を十分していく中で解禁ということですが、令和4年度町民大運動会の中止の経緯について答弁を求めます。

**町長** 開催することを前提に協議を進めていた。各地区公民館長、体育部長で組織する町民大運動会運営委員会が開かれ、いろんな御意見

が出され8校区中6校区が中止すべきという結果で、地区の公民館から同意が得られない状況でありましたので、中止の判断をした。今後アンケート結果も踏まえながらしっかりと検討してまいります。

### 大宇都、長谷地域に所在する一般廃棄物及び産業廃棄物の処理について

**塩釜** 産業廃棄物については、集中運送業や処理業等の許可等は県の監督管理下であることは承知している。町は県に対してどのような連携をとっているのか、それに対して県の対応は。

**町長** 県の対応は非常に不誠実で不満を持っている。県へ今後の対応について要請を行い地元県議を通してもなかなか進まない。

町としては、議会からの意見書の重要性をしっかりと申し上げておりますので、今後も県がしっかりと対応していただけるような協力要請をしてまいります。



濱田 一徳 議員

## 自衛隊施設誘致に関して

**濱田** 車庫、整備工場、宿舍の建設用地が旧南種子高校グラウンドの約3分の1程度と示されたが、決定とみなしてよろしいか。

**町長** 官民一体となった要望活動等により、本町にも関連施設の配置案が示された。建設用地等については、公有地の町内7カ所を提示している。南種子町自衛隊誘致推進協議会からは、旧南種子高校グラウンドを推薦したいとの要望も届けられている。防衛省で建設場所に対して議論がなされ、正式に示されており、そこで決定だと理解している。

### 文化財保護と観光対策

**濱田** 横峯遺跡が国の文化審議会により国史跡の答申がなされたが、保護と観光との両立についてどう考えるか。

**教育長** 横峯遺跡は、平成4年に熊本郡で初めて発見された旧石器時代の遺跡で、鹿児島県でも最も古い遺跡になる。年代は3万5千年前

日本列島に中国大陸から、私たちと同じ人類が初めて移住してきたころの数少ない遺跡で大変貴重である。日本で最も古い調理場の跡である磯群が発見されており、最初に日本列島に住み着いた人類が、どのような生活をしていたかを物語る極めて重要な遺跡として学会でも大きく注目されている。

日本の歴史の最初の1頁を飾る貴重な国の文化財の遺跡であり、適切に保護を図り、郷土教育にも生かし、観光・地域振興につなげていく必要があると考えています。

専門の先生方の指導もいたしながら、先進地等も視察し、また地域の方々のご意見などを参考にしながら一般の方にもわかりやすく観光につながるような整備計画を進めたいと考えております。

**濱田** 西海岸線の観光ルートを造ることはできないか。

**町長** 種子島全体の観光像、姿について、これまで6回の検討会が開催され、種子島の観光振興の課題等を議論している。本町においても、先々

を見据えた観光施策が非常に重要であると認識している。観光対策として全額本町でやるには財源的に非常に厳しく、今後有利な補助事業を導入して実施すべきと考える。

**企画課長** 西側の観光ルートについては、令和5年度の事業で鹿児島県の魅力ある観光地づくり事業に申請を行うべく、現在資料等を作成しているところである。

### 買い物対策

**濱田** 過去に取り組んだ記録があれば、その結果と課題は何か。

**町長** 平成29年に株式会社サムズから南種子町内出店計画の陳情書が出されているが、高校跡地の一部を町が整備した上で有償賃貸するとういうものであった。当時は店舗を町が整備して貸し出す。ということとで商工会や住民の理解が得られないという判断から断念した経緯がある。

また、令和2年6月には下立石集落公民館から、町外業

者に南種子町での事業開設や、町内業者への衣料品の取り扱いを要請できないか、との要望を受け、現状では町外業者の誘致は難しい面もあるため、地元小売店で取り扱える店舗があることを確認し、必要とする衣料品やメーカー、柄、サイズ等の情報提供をいただきたいとの回答をしているが、その後情報提供がなかったと報告を受けている。

**濱田** 的を絞ってスーパーなどの誘致はできないか。

**町長** 非常に皆さんが関心を持つ重要なことと思う。本町の移住・定住の人口増対策にも重要であり、今進めていること全部に関わってくると思う。地域全体で取り組む必要があると考えますから、議論の場を持ちながらご意見をいただき、検討してまいりたいと思う。





廣濱 正治 議員

## 西海岸にトイレの建設について

**廣濱** 観光スポットとしてのトイレの設置をお願いしたが、その後どうなったのか。

**町長** 町の単独事業で実施するということは、財政的に非常に厳しい。観光ルートの整備という位置づけでやりたい。令和5年度、県の魅力ある観光地づくり事業で、用地以外はすべて100%県費で賄う事業がありまして、要望し、今、その準備を所管課の方でやっているところである。10月中に県のヒアリング等が実施され、事業採択がなされた場合、展望スペース、休憩所、あずまや、そして駐車場、トイレ等を5年度事業で着手する方向で、進めているところである。

### 第1次産業の第6次産業化について

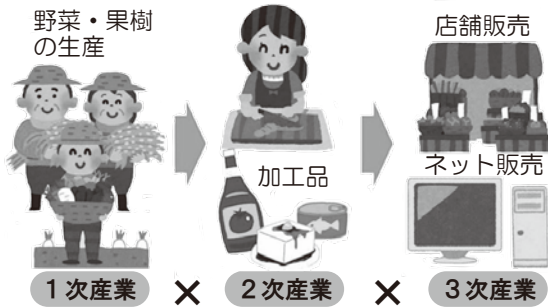
**廣濱** 第1次産業の第6次産業化の進捗状況について伺います。個人任せの6次産業化というか、起業させている

かどうか伺います。

**町長** 6次産業化といいますが、ご承知のとおり本来の農畜産物生産活動だけでなく、加工販売までを取り組むことを意味しております。私どもの町にも色んな特産品がありますけれど、全体の特産品として出すことができないのか。ふるさと納税にも使えないのか。私も提案いたしました。が、なかなか皆でやろうとはならないと感じております。ふるさと納税も、ちょっと足踏み状態でありますので、このままではいかんということで、副町長をトップとして調査に行き、何をもうとやる必要があるのか、今後改善できるところからしっかり改善せんといかんなど思っているところである。

**廣濱** 6次産業化して常時出荷できる体制をつくっていくには、町がテコ入れをしていかないと資金も大変だし、それなりの待遇をしないと6

6次産業 = 生産から販売まで農家が主体  
【所得向上・雇用の拡大・地域活性化】



次産業化は厳しいのかなと思っています。町長の考えは。

**町長** 私もそこら辺は、そのように感じております。何とかこのいい品物を、こういう産物を加工もそうですけれど、いい方向に進めることが出来ればいいのかな、と思っております。もう少ししっかりと研究をさせていただいて、勉強させていただきたい。

### 馬毛島自衛隊基地関連施設誘致に関して

**廣濱** ロシアのウクライナ侵攻に町長は、どのように思っていますか。

**町長** 争いのない平和な世界を望んでおります。

**廣濱** 中国、ロシア、北朝鮮は日本を攻撃してくると思いませんか。

**町長** 具体的に中国が攻撃してくるかどうかわかりませんが、私にはそれにお答えする余地もありません。

**廣濱** 多目的地下倉庫の建設を国に要望すべきだと思いますか。

**町長** 有事の際に施設を、他の目的に使っておるのは、目的外使用であつたり疑問が残るところである。農産物の貯蔵等については、別で考えていく必要があると思えます。



福島 照男 議員

## 安心して子どもを産み育てられる 支援の強化について

**福島** 国立人口問題研究

所による本町の人口推計は、13年後の2035年に3837人、この内15歳未満は460人で12%、23年後の2045年は2961人、15歳未満は320人で10.8%、65歳以上の割合は50%で2人に1人は高齢者となっています。この数字だけを見ると、益々本町の活性化が失われていく危機感を感じます。人口減少対策として移住促進策等を行うことは当然ですが、子どもを産み育てやすい環境整備は、最も重要な施策の一つだと考えます。結婚や出産、子育ては一人ではできないものではなく、取り巻く環境や周りの手助けがあつてこそできるものです。現在の対策だけでなく、十分に機能しているのか、他に打つ対策はないのかなどについて、議論を深めていく必要があると思つています。

そこで町長に伺います。地域社会全体で子育てする環境整備を更に充実し、出生数の向上を図る必要があると思つていますが、この厳しい状況の認識を町民と共有し、理解して

いただくところから取り組みたいと実現は大変厳しいのではないかと考えますが、町長の認識を聞かせてください。

**町長** 町民の少子化に対する認識の共有については、各

学校の児童数や集落行事の運営などから、人口の減少・少子化・高齢化の問題について、実感として充分認識はされているものと思つています。

この少子化対策については、国も待機児童の解消対策、幼児教育の無償化、高校の授業料無償化、児童手当など、経済的な支援を行っています。

本町においては、出産祝い金の支給、高校までの医療費の無償化、そして給食費の無償化など、経済的な支援や令和3年10月からは病後児保育施設を開始するなど、子育て支援についても力を入れております。

**福島** 私も本町の子育て支援策については、努力されていると思つています。それでも実際の出生数から見ると、なかなか厳しいものがあると

思つています。

そこで、本町の過去5年間の出生率及び出生数の報告を求めます。

**保健福祉課長** 出生数の

状況ですが、平成29年度が50名、平成30年度が43名、平成31年度が30名、令和2年度24名、令和3年度が30名となっています。令和4年度については、30名を少し超えるの見込まれます。

出生率については、数字を持ち合わせていません。

**福島** 私は今の子育て支

援が不足しているとは捉えていませんが、現実の出生数を見る限り、移住定住促進や家族留学の促進を行うと同時に、地元にいる方々の出生数を何とか増やしていく必要があります。

これだけ手厚い対策を講じていながらも、出生数が伸びて来ないということは、どこかに原因があると捉えています。1回立ち止まって足元を見直す必要もあるのかと思つていますが、町長の考え方を伺う。

**町長** 子育てしやすい環境整備には努めてきています

が、少子化に密接に関係しているものはやはり、婚姻数ではないかという考え方も持っています。今年そういう取り組みも行いますが、出会いの場の機会も増やす必要があると思つており、今後も皆様から色々なご提案をいただきたいと思つています。

**福島** 問題解決のヒント

は現場にあると捉えています。が、現役世代が子育てしやすい環境を少しでも整えるために意見交換する場を設ける必要があると思つています。

**保育園長** 日常的に直接

保護者と接する機会が多く、具体的な保護者の要望を聞き取り、一つひとつ解決に向けて対策を講じています。今後とも保護者一人ひとりに寄り添った保育園に努め、園児及び保護者の両方を支援できるような体制づくり、環境づくりの充実を図って行きます。

# 論

# 点

## 条例

南種子町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

質疑 なし

南種子町定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

質疑 詳しい場所は。また家賃の違いは。

答弁 赤米館の手前と阿多羅経の中心部です。

家賃については、耐震診断等、改修の経費等、返済等を考慮して計算しています。

質疑 家族留学生等という範囲について詳細な説明を。

答弁 家族留学以外の者

## 事件

普通財産の無償貸付について

も住まわせていくことに変わってくるだろうと考えています。

島内への定住促進と良好な

住環境の保全を図るために、「種子島空き家・空き地等の利活用に関する連係協定」に基づき、必要な支援を行うため、普通財産の無償貸付を住宅用地として、株式会社社川商ハウスに貸し付けるものです。

中南衛生管理組合規約の変更について

質疑 利用度割が設けられたが、どれくらい安くなるのか。

答弁 南種子町の負担額約662万7千円の減となる

## 予算

令和4年度南種子町一般会計補正予算(第4号)

質疑 旧弓道場の解体工事請負業者は。跡地の利用方法は。

答弁 決まっていない。駐車場として利用する。

質疑 キャトルセンターの収支について。

答弁 執行部と事務局側と協議し、経費節減と状況説明をし、運営委員会の検討を実施する計画である。

質疑 教育費学校営繕費の用途については。

答弁 平山小学校グラウンド周辺の側溝入れ替え整備となります。

見込みです。

質疑 減額の主な要因は。

答弁 被保険者の所得額が下がったことと、国保資格者の減です。

令和4年度南種子町介護保険特別会計補正予算(第2号)

質疑 なし

令和4年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)

質疑 医療保険料の減額補正の背景は。

答弁 年金受給者の所得が下がったこと。

令和4年度南種子町水道事業会計補正予算(第2号)

質疑 当初予算でなく補正予算に至った経緯は。

答弁 財政措置の関係での9月末支払い分は当初予算、3月支払い分は、会計状況を見ながら補正予算とい

う形をとっている。

令和4年度南種子町一般会計補正予算(第5号)

移住定住促進のための住宅整備事業、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを行うための、債務負担行為3件の追加補正。

●南種子町移住定住促進住宅整備事業に係るリース料  
20年間 限度額 15億5千270万1千円

●電気自動車のリース料  
5年間 限度額 3千622万1千円

●外部給電器のリース料  
5年間 限度額 608万3千円

※債務負担行為とは?

地方公共団体が将来にわたる債務を負担する行為のこと。

「債務を負担する」とは、「お金を払う義務を確定する」という意味です。

# 所管事務調査 委員長報告

(総務文教委員会)

委員長 柳田 博  
副委員長 大崎 照男

委員 小園 實重  
委員 廣濱 正治  
委員 広浜 喜一郎

## 企業誘致対策に関する調査

今年度、閉会中の継続調査

としていた企業誘致対策に関する調査を、去る6月2日(木)に現地調査を実施した。

企画課長、外係長、担当職員も同行していただき、平山浜田の株式会社HOPPEで係長より、建設費、企業立地優遇(税の減免)補助金・融資等について概要説明をいただいた、その後、風間代表取締役より建設までの経緯や施設等の説明を受けた。取締役は、自分自身も移住者であり、本町の定住促進実行委員会の会長にも就任して、本町のため日々頑張っていたという。リモートでの仕事をもつと

もつと増やしていきたい協力をお願いしたい旨の要請を受けた。

11年前に、島宿HOPPEを開業し、翌年にジェラートを開業、今年度よりシェアハウスをオープンした。

次に宇宙ヶ丘公園に、建設された町営の「サテライトオフィスみなみたね」を視察調査し意見交換をした中で、利用者の方々の要望は、できるものから対応を図っていく様にと質問等が出た。又町の運営する施設であっても、飲食のスペースも検討していくべきではないのかの問いに、民業等の圧迫なども考慮しながら検討していくきますとのことであった。

## 教育行政に関する調査

学校関係の施設について調査した。各学校との調整は、教育委員会管理課で協議していただき、6月28日(火)は、午前西野小学校、南種子中学校、給食センター、午後大川小学校、島間小学校、29日(水)午前花峰小学校、中平小学校、午後荃南小学校、平山小学校、長谷小学校という日程

で、1校あたり50分程度を予定し、平日で授業に支障のない範囲で対応し意見交換は、現場の都度現場での説明とする。又対応については、管理課長と、施設係長が同行し校長先生、教頭先生が対応することとし、日程順に調査を実施した。

各学校から、令和4年度営繕工事、修繕等の要望書の説明を受けながら、施設を調査した。学校からの要望書につ

いては既に、発注済や設置済のものも含め、各学校10項目前後あり、多い学校は、30項目もある学校があった。しかし、各学校とも限られた予算を有効かつ、工夫しながら活用していると感じた。校庭の整備については、各学校で温度差があるように感じた。総括の中で、学校敷地内の樹木の伐採をとという要望もあったが、PTA又地域の方々とよく協議をするようにしていただきたい。又各学校とも生徒や先生が、安心・安全に授業ができる環境を作っていただきたい。要望事項が5項目から30項目と、学校によって大きな差が出ない様に早急な対応が必要である等の意見が出た。

今回の所管事務調査を通じて、当委員会の意見として次の3項目を町当局に申し入れることとした。

1 「ワーケーションスペースHOPPE」・「サテライトオフィスみなみたね」いずれも多額の総事業費である。多くのの人に、又は企業に利用していただくようにPRし「サテライトオフィスみなみたね」には飲食スペースを設け、利活用の推進を図ること。

2 荃南小学校は、土砂災害地域・急傾斜地危険箇所地域にも指定されており、トイレ等の不備もあることから、前倒しして検討すること。

3 各学校でかなりの温度差があることから、共通理解を図ったうえで、要望事項を平準化し、出来ることから早急な対応を検討すること。

以上を執行部に申し入れることを委員会で決定し、本会議で同意した。



# 所管事務調査 委員長報告

(産業厚生委員会)

委員長 名越 多喜子 委員 福島 照男  
 副委員長 濱田 一徳 委員 塩釜 俊朗

閉会中の所管事務調査として「観光施設の充実と観光地開発について」事務調査を令和3年10月4日、産業厚生委員会を開会し、所管事務調査の実施に向け協議した。

●現状把握にあたり、企画課に協力を依頼し、現在の観光地の現状調査を実施。

●社会教育課に協力を求め、文化財等掘り起こしのための調査を実施。

令和3年10月12日産業厚生委員会を、社会教育課長と文化係長の出席を求め開会し、「観光施設の充実と観光地開発に関する調査」について資料を基に説明を受けた。次に、社会教育課長と文化係長同行のもと、現地調査を実施した。

始めに、横峯遺跡↓島間上

妻城址↓西海地区恵比寿様

↓西之地区景勝地(七色展望所)↓本村集落西村織部承屋敷跡↓本村集落遠矢碑を調査した。

13時より会議を再開し、企画課長と担当係長の出席を求め、観光地の状況を資料に基づき説明を受けた。

次に、企画課長と担当係長同行のもと、島間地区火合峰↓平山浜田集落マンガローグパーク↓浜田集落松寿院川直しの碑↓千座の岩屋↓上中河内貝塚層の現地調査を終了。

次に、令和4年8月18日15時30分より閉会中の所管事務調査として、種子島観光協会の調査を西之表市産業会館会議室で、種子島観光協会会長酒井通雄氏と事務局の古野健太郎氏の出席をいただき、調査を実施。

●種子島における観光の現状と今後の計画について。

●南種子町における現状と今後の計画について、聞き取りを実施。

まず、酒井通雄会長に概要説明と資料に基づき、協会の基本方針や今年度の取り組み状況等について説明を受けるとおりである。

●配信システムの構築(南埠頭・鹿児島空港等)。

●グーグルマップを活用した観光PRの発信。

●教育旅行誘致について。

●観光客からの意見等の接遇状況の検討について(JALの接遇研修)を予定している。

説明終了後、質疑に入る。

質疑 令和3年度分入込数の17万4千956名に島

民利用者も含まれているか。

答弁 島民利用者も入っている。個人情報等もあり、純粋な観光客数を取るのには難しい。

質疑 観光協会の職員数は。

答弁 職員2名と女性パート職員3名の5名で、3

60日土日も含め、協会の窓口を開けて対応。パート職員は、ほぼ窓口業務が主体である。

質疑 港や空港のPR動画について。

答弁 PR動画は、令和3年7月までは5本で、同年8月1日から20本に変更。

質疑 各市町の負担金状況は。

答弁 種子島観光協会の負担金として南種子町の負担金は387万1千円支出、そ

の10%が各市町支部の活動費となっている。西之表市40万円、中種子町32万円、南種子町28万円、全体で100万円程度である。

ちなみに、種子島観光協会南種子支部の活動内容は、海岸清掃、ロケット祭り及び宇宙芸術祭、花火大会等にボランティアとして参加している。

以上で、観光協会調査を終了。

令和4年9月12日に当委員会を開会し、所管事務調査のまとめを行い、意見として、次の2項目を集約し決定した。

1 新たな観光資源として、文化財の有効活用が必要であると思うので、教育委員会と協議を進めていくべきである。

2 各観光地点と文化財を組み合わせた、案内板の設置が必要である。

以上を執行部に申し入れることを委員会で決定し、本会議で同意した。

令和3年度決算審査特別委員会設置(委員6名)

- 委員長 大崎 照男議員
- 副委員長 福島 照男議員
- 委員 柳田 博議員
- 委員 名越 多喜子議員
- 委員 廣濱 正治議員
- 委員 濱田 一徳議員

決算認定5件(認定第1号から第5号)

- 認定第1号 令和3年度南種子町一般会計歳入歳出決算認定について
- 認定第2号 令和3年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第3号 令和3年度南種子町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第4号 令和3年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第5号 令和3年度南種子町水道事業会計決算認定について

以上の5件について、6名の委員で構成する「決算審査特別委員会」に審査付託されました。

選挙

中南衛生管理組合議会及び公立種子島病院組合議会議員に欠員が生じたため、補欠選挙を行い、左記の者を決定した。

中南衛生管理組合議会議員 氏名 福島 照男

公立種子島病院組合議会議員 氏名 塩釜 俊朗

任期は、前任者の残任期間で、令和5年4月30日までです。

ホームページの閲覧について

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると南種子町議会の議会だより(平成27年3月発行分以降)と定例会の会議録(平成27年第2回定例会分以降)の閲覧ができます。是非ご活用ください。

議会だより



会議録



編集後記

近年稀にみる猛烈な台風14号は、種子島では農作物への被害はあったものの、心配していた大きな人的被害、家屋被害がなかったことが非常に幸いだったと思います。

種子島は昔から台風の通り道となっており、毎年のように台風による、農作物等への被害が出ていますが、近年は人的被害や家屋の倒壊等あまり聞かなくなりました。私たちは昔から台風の怖さを十分に知り、台風情報に敏感に反応し、十分な備えを行っていることが、大きな被害を回避しているのだと思います。決して運が良かったからではありません。「備えあれば憂いなし」これからも十分な準備、備えが必要だと思えます。

さて、9月定例会も終わりました。詳細は町広報紙等で広報されているとおりです。今回は不足している住宅事情の改善策の一つとして、移住定住促進住宅整備事業に関する議案等を審議、可決しました。町外からの通勤者、宇宙留学生で残留を希望する家

庭等の住宅事情の改善が期待されています。

馬毛島問題については、西之表市の態度に変化が見られ大きく動き出したように感じます。

自衛隊施設の誘致に関しては、本町はゼロからの出発でしたが、官民一体となった要望等を行った結果、施設の誘致に成功し、再編交付金支給の対象にもなりました。

今後は、住宅事情の改善による人口増と、自衛隊施設を受け入れを機に、どのようにしたら南種子町発展につなげることができるのか、町民みんなで知恵を出し合い対策を練る時期に来ていると考えます。

早いもので、もう11月です。近年は、海水温度の上昇など地球温暖化による影響からか、11月になっても強い台風が発生します。普段から台風等災害のみならず、何事に対しても事前に計画を立て、準備を整えて、より良い生活ができるようにしたいものです。

議会広報編集委員会 (文責)濱田 一徳